病 理 部

1 構成員

	平成22年3月31日現在
教授	0人
准教授	1人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
助教(うち病院籍)	1人 (1人)
助手(うち病院籍)	0人 (0人)
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	0人
医員	3人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生 (うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	4人
その他 (技術補佐員等)	3人
合 計	12人

2 教員の異動状況

 馬場
 聡 (部長・准教授)
 (H18. 6. 1~現職)

 土田
 孝 (助教)
 (H19. 4. 1~現職)

3 研究業績

数字は小数2位まで。

	平成21年度
(1) 原著論文数 (うち邦文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(2) 論文形式のプロシーディングズ数	0編
(3) 総説数 (うち邦文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.00
(4) 著書数 (うち邦文のもの)	0編 (0編)
(5) 症例報告数 (うち邦文のもの)	11編 (9編)
そのインパクトファクターの合計	1.35

- (1) 原著論文(当該教室所属の者に下線)
- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

- 1. 大石康介,坂口孝宣,森田剛文,鈴木敦司,福本和彦,稲葉圭介,<u>馬場</u>聡,鈴木昌八,今野弘之* 肝内胆管細胞癌におけるM-CSF発現、腫瘍内、腫瘍周囲肝組織マクロファージ密度と予後の関連性 日本外科学会雑誌 111巻臨増2:675,2010
- 2. 上原隆志,宮崎真一郎,飯野一郎太,瀬戸口智彦,川端俊貴,菊池寛利,山本真義,太田 学,神谷欣志,馬場 恵,田中達郎,今野弘之*,瀬藤光利,<u>馬場 聡</u> 質量顕微鏡による胃癌凍結標本の解析 日本外科学会雑誌 111巻臨増2:317,2010

インパクトファクターの小計 [0.000]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. 柴原弘明,有吉啓子,石堂 統,久世真悟,京兼隆典*,高見澤潤一,檜垣栄治,高柳正弘, 林英次郎,<u>馬場 聡</u> 消化管神経内分泌細胞癌の免疫組織学的検討 神経内分泌マーカー・ EMA・ムチン蛋白・ソマトスタチンレセプターの発現 袋井市立袋井市民病院研究誌 18巻1 号:2-7,2009

インパクトファクターの小計 [0.000]

(5) 症例報告

- B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共 同研究)
 - 1. Kawasaki H, Ogura H, Arai Y, <u>Baba S</u>, Kosugi I, Tsutsui Y, Iwashita T*. Aggressive progression of breast cancer with microscopic pulmonary emboli possessing a stem cell-like phenotype independent of its origin. Pathol Int. 60(3): 228-34, 2010
 - 2. Nakayama N, Fujigaki Y, Tsuji T, Sakakima M, Yasuda H, Togawa A, Suzuki H, Fujikura T, Kato A, <u>Baba S</u>, Takahashi S, Hishida A*. Rapid deterioration of renal function in a patient with multiple myeloma associated with amyloid and light chain depositions. Clin Exp Nephrol. 13(6):671-6, 2009
 - 3. 森 達吉,川村哲也,山本真由美,伊藤泰介,橋爪秀夫,瀧川雅浩*,目黒史織,<u>馬場</u>聡, 犬塚 学ランゲルハンス細胞肉腫が疑われた1例 日本皮膚科学会雑誌 120巻3号:739,2010
 - 4. 坂口孝宣,鈴木淳司,稲葉圭介,福本和彦,目黒史織,<u>馬場</u>聡,鈴木昌八,今野弘之*広範な多臓器合併切除を要した後腹膜脂肪肉腫の1例日本外科系連合学会誌34巻6号:1119-1125,2009
 - 5. 森田剛文, 坂口孝宣, 稲葉圭介, <u>馬場</u> <u>聡</u>, 鈴木昌八, 今野弘之* 術後にAeromonas Hydrophila感染症を発症した, Crohn病合併胆嚢・膵重複癌の1例 日本臨床外科学会雑誌 70 巻7号: 2206-2210, 2009

インパクトファクターの小計 [1.349]

- C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの
 - 1. 高見澤潤一, 久世真悟, 京兼隆典*, 柴原弘明, <u>馬場</u> <u>聡</u> 胃癌とIPMNを合併した十二指腸球 部癌の1切除例 日本臨床外科学会雑誌 71巻3号:883,2010

- 2. 林英次郎*, 柴原弘明, 辻 敦, 木下真奈, <u>馬場 聡</u> 十二指腸球部原発の神経内分泌細胞癌の 1例 日本消化器病学会雑誌 107巻1号:84-92, 2010
- 3. 高見澤潤一,久世真悟,京兼隆典,柴原弘明,檜垣栄治*,<u>馬場</u>聡 良性肝門部胆管狭窄の 1例 日本臨床外科学会雑誌 70巻10号:3203, 2009
- 4. 波田野智架, 高柳正弘*, 木下真奈, 馬場 聡 化学療法中に多発性骨転移を来たした、回盲部 原発の神経内分泌癌成分を含む腺癌の一例袋井市立袋井市民病院研究誌 18巻1号:60-66, 2009
- 5. 吉田直樹, 柴原弘明, 久世真悟, 京兼隆典, 高見澤潤一, 檜垣栄治, 鈴木秀昭*, 高柳正弘, 馬場 聡 直腸内分泌細胞癌の1例 袋井市立袋井市民病院研究誌:18巻1号:14-20, 2009
- 6. 柴原弘明,吉田克嗣,久世真悟,京兼隆典,高見澤潤一,檜垣栄治*,<u>馬場</u>聡 乳頭部膵管を主座とするIPMNが膵頭部主膵管へ進展し分枝膵管で浸潤癌となった多発IPMNの1例 肝胆 膵画像 11巻4号:446-454, 2009

インパクトファクターの小計 [0.00]

4 特許等の出願状況

	平成20年度
特許取得数(出願中含む)	0件

5 医学研究費取得状況

	平成20年度
(1) 文部科学省科学研究費	0件 (0万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0件 (0万円)
(3) 他政府機関による研究助成	0件 (0万円)
(4) 財団助成金	0件 (0万円)
(5) 受託研究または共同研究	0件 (0万円)
(6) 奨学寄附金その他(民間より)	0件 (0万円)

7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0件	0件
(2) シンポジウム発表数	0件	0件
(3) 学会座長回数	0件	0件
(4) 学会開催回数	0件	0件
(5) 学会役員等回数	0件	0件
(6) 一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	国 内	外 国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成20年度
(1) 国際共同研究	0件
(2) 国内共同研究	0件
(3) 学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成20年度
産学共同研究	0件